

## 空気を読むより大切なこと

3年 R・Kさん

「大人はみんな勝手だよ」主人公ゆうすけの言葉を読んで、私はドキッとしました。私も大人って勝手だなと思うことが時々あります。仕事が忙しくてイライラしていたり、急に勉強や手伝いをしろと言われたり…かと思えばごきげんだったり。ずっと空気を読んでがまんしてきたゆうすけの「誰もぼくの気持ちなんて全然気にもしないじゃないかー」というさげびに、そうだよ、と「コクリコクリ、うなずきました。

ミンミンの言うとおり、本当は空気は読むものではありません。でも私はつい読んでしまいます。だっておこられたくないからです。空気は、とうめいなはずなのに、お父さんやお母さんや友だちの思っていることがギッシリと書いてあるかのように感じる時があって私は時々シュンとしずかになってしまいます。でも本当に言いたいことを心の中にギュッと閉じこめて口をふさいでしまう私とはちがってミンミンはやりたいたいことをやり、言いたいことを言います。

どうしてミンミンはそうできるのだろうかとう考えました。きつと育った国がちがうだけではありません。ミンミンはとっても直なのです。ミンミンがゆうすけの家のキッチンで勝手に料理を作った時、お母さんがうれしそうじゃないことは気づいていたと思います。でもミンミンはおいしいパオピンを作って、ただゆうすけたちによるこんでもらいたかったんだと思います。

まちがえたって、けんかしたって、まず自分の本当の気持ちを伝えなきゃいけない。空気ではなくて相手の本当の気持ちを聞かなきゃならない。それをこの本が教えてくれました。

私もミンミンが見たまっすへな地平線を、いつか見たいと思いました。